

第8回 庄原市市街地公共施設のあり方検討委員会 次第

■日時 平成31年2月8日（金）14:30～

■場所 庄原市役所 5階 第3委員会室

1. 開会

2. 議事

(1) 庄原市民会館・庄原自治振興センターの整備に関する方針（案）について 資料1

(2) 庄原市民会館・庄原自治振興センター以外の市街地公共施設のあり方検討について

資料2～5

3. 閉会

庄原市民会館・庄原自治振興センターの
整備に関する方針（案）

平成 31 年 2 月

庄 原 市

目次

I	はじめに	1
II	施設の概要	2
1.	建物全体の概要	2
2.	各室の概要	2
(1)	庄原市民会館管理	2
(2)	庄原自治振興センター管理	2
III	施設の現状と課題	3
1.	庄原市民会館	3
(1)	現状	3
(2)	課題	3
2.	庄原自治振興センター	3
(1)	現状	3
(2)	課題	3
IV	庄原市市街地公共施設のあり方検討委員会からの検討結果報告	4
1.	庄原市民会館が今後果たす役割（機能）	4
2.	庄原自治振興センターが今後果たす役割（機能）	4
3.	庄原市民会館・庄原自治振興センターの整備場所及び整備方法	4
4.	庄原市民会館・庄原自治振興センターの改修	4
(1)	共通事項	4
(2)	庄原市民会館の改修	5
(3)	庄原自治振興センターの改修	5
V	整備に関する方針	6
1.	庄原市民会館・庄原自治振興センターに共通する整備方針	6
(1)	整備場所	6
(2)	整備規模	6
(3)	施設の安全性対策（最優先事項）	6
(4)	長寿命化対策	6
(5)	ユニバーサルデザインへの配慮	6
(6)	市民意見の反映	6

2. 庄原市民会館の整備方針	7
(1) ホールの改修	7
(2) 舞台関係の改修	7
(3) その他既存施設の改修	7
3. 庄原自治振興センターの整備方針	8
(1) 多目的ホールの新設	8
(2) 和室の改修	9
(3) その他既存施設の改修	9
VI 庄原市民会館・庄原自治振興センターの概算事業費及び整備スケジュール	10
1. 庄原市民会館個別事業費	10
2. 庄原自治振興センター個別事業費	10
3. 庄原市民会館・庄原自治振興センター共通事業費	10
4. 総事業費	10
5. 整備スケジュール	11
6. 年度別事業費	11
7. 事業費に対する財源	11
VII 配置図・平面図	
庄原市民会館・庄原自治振興センター配置図	12
庄原市民会館・庄原自治振興センター平面図	13

I はじめに

庄原地域の中心市街地（以下、「庄原市街地」という。）においては、市役所本庁舎をはじめ多様な公共施設等を整備してきたが、これらの中には整備完了から相当年数が経過し、老朽化に加え、建設当時の機能が現在の利用者ニーズに十分に対応できない状況がある。

なかでも、庄原市民会館と庄原自治振興センターは、一体的な施設で庄原市街地では最も大規模な施設であるが、築後 40 年以上が経過し、これまで大規模な改修を実施していないため、利用者等から施設整備を望む声が寄せられている。

その他、公共施設等が分散していることや機能が重複しているなどの課題もあり、将来の庄原市街地の機能強化や公共施設の最適な配置などを含め、総合的な検討が求められている。

こうした現状を踏まえ、平成 29 年 7 月に学識経験者や市民団体等の役員 9 名で構成する「庄原市市街地公共施設のあり方検討委員会」（以下、検討委員会という。）を設置し、延べ 7 回にわたる検討委員会を開催した。検討委員会では、今後の庄原市街地の公共施設のあり方に大きな影響を与えることとなる、庄原市民会館及び一体的施設である庄原自治振興センターの整備について、市民及び高校生アンケートや 2 回の管理団体、利用団体からの意見聴取を行い、慎重にご議論いただいた。

平成 30 年 10 月、検討委員会から「庄原市民会館・庄原自治振興センターの整備に関する検討結果報告書」を提出いただいたところである。

庄原市民会館・庄原自治振興センターの整備について、施設の現状と課題を踏まえ、この報告書を参考に「庄原市民会館・庄原自治振興センターの整備に関する方針」を定める。

II 施設の概要

1. 建物全体の概要

	庄原市民会館	庄原自治振興センター
所在地	庄原市西本町二丁目17番15号	
構造	鉄筋コンクリート2階建一部3階	鉄筋コンクリート2階建一部3階
敷地面積	10,787.00 m ²	1,767.00 m ²
全敷地面積	12,554.00 m ²	
駐車場面積	4,255.00 m ²	
建築面積	2,237.01 m ²	1,170.91 m ²
全建築面積	3,407.92 m ²	
延床面積	2,577.15 m ²	1,767.33 m ²
全延床面積	4,344.48 m ²	
竣工	1977年(昭和52年)9月20日	1976年(昭和51年)3月20日

2. 各室の概要

(1) 庄原市民会館管理

室名	定員等	面積 (m ²)	備考
ホール	926席	—	車椅子席10席
ロビー	—	381.72	
楽屋1	洋間	43.54	
楽屋2	11帖	25.99	
楽屋3	6帖	17.28	
集会室	150人	183.04	机使用の場合は80人
視聴覚室	—	15.39	
研修室F	30人	58.32	

(2) 庄原自治振興センター管理

室名	定員等	面積 (m ²)	備考
実験実習室	40人	63.18	料理実習室
談話室	30人	47.64	
研修室A	15帖	28.91	各種会議・茶室
研修室B	10帖	20.81	
研修室C	8帖	18.63	各種会議
研修室D	8帖	16.56	
研修室E	8帖	20.70	
研修室G	30人	68.40	洋裁・和裁研修室
1階会議室	—	36.92	
2階会議室	40人	44.20	机使用時は24人

Ⅲ 施設の現状と課題

1. 庄原市民会館

(1) 現状

庄原市の芸術・文化活動の拠点として、市民の文化の向上及び住民福祉の増進を果たす役割を担っており、NPO 法人庄原市芸術文化センターを指定管理者として管理委託している。926 席の大ホール、ロビー、楽屋、集会室、視聴覚室、研修室 F を管理し、平成 29 年度の利用者は 30,742 人となっている。

(2) 課題

施設全般に老朽化や経年劣化が進んでおり、近年多額の維持修繕費を要している。

躯体の防水性やホールの空調設備の不調、座席まわりの狭さ、トイレの快適性など、施設の改善要望の声が寄せられており、舞台設備についても文化施設の拠点としての改善が望まれている。

また、一体的な躯体をなす庄原自治振興センターとの境界部分等に耐震性が一部不足していることが判明し、耐震改修工事が必要となっている。

さらに機能面においては、旧中央公民館が担っていた貸館機能が、庄原市民会館・庄原自治振興センターの両施設に混在し、来館者の利用申請が煩雑になっている。

2. 庄原自治振興センター

(1) 現状

庄原自治振興区内において、協働のまちづくりをめざし、住民自治活動の充実を図るため、庄原自治振興区等の主体的な地域づくり活動並びに生涯学習等の拠点としての役割を担っており、庄原自治振興区を指定管理者として管理委託している。研修室 A・B（和室）、研修室 C・D・E（和室）、研修室 G、2 階会議室、談話室、実験実習室を管理し、平成 29 年度の利用者は 12,331 人となっている。

(2) 課題

施設の老朽化・バリアフリー化の改修が行われていないことに加え、地域住民の生涯学習活動、文化活動のための会議室や多目的なパブリックスペースが不足しており、庄原自治振興区から増床を含めたセンター改修の要望書が提出されている。

また、一体的な躯体をなす庄原市民会館との境界部分等に耐震性が一部不足していることが判明し、耐震改修工事が必要となっている。

さらに機能面においては、旧中央公民館が担っていた貸館機能が、庄原市民会館・庄原自治振興センターの両施設に混在し、来館者の利用申請が煩雑になっている。

IV 庄原市市街地公共施設のあり方検討委員会からの検討結果報告

検討委員会から、平成30年10月に「庄原市民会館・庄原自治振興センターの整備に関する検討結果報告書」を提出いただいた。その内容は、以下のとおりである。

1. 庄原市民会館が今後果たす役割（機能）

庄原市の芸術・文化活動の拠点として、市民の文化の向上及び住民福祉の増進を果たす役割を担う。また、庄原自治振興センターと共に、庄原市全体への貸館機能を担う。

2. 庄原自治振興センターが今後果たす役割（機能）

庄原自治振興区内において、協働のまちづくりをめざし、住民自治活動の充実を図るため、庄原自治振興区等の主体的な地域づくり活動並びに生涯学習等の拠点としての役割を担う。また、庄原市民会館と共に、庄原市全体への貸館機能を担う。

3. 庄原市民会館・庄原自治振興センターの整備場所及び整備方法

現在地において、大規模改修を行う。

4. 庄原市民会館・庄原自治振興センターの改修内容

(1) 共通事項

- ①耐震改修は必須である。
- ②20～25年後を見据えた整備を行う。
- ③アンケートで不満が多かった箇所を改善する。
- ④高齢者や障害者の方々はもとより、多くの方々に使いやすい施設とする。
- ⑤利用者及び関係団体の意見を取り入れながら進める。
- ⑥未利用者の意見も尊重する。
- ⑦庄原市民会館と庄原自治振興センターの事務室を、駐車場がある南側玄関、または現在庄原市民会館事務室がある北側玄関を改修して、隣接する形となるよう検討する。
- ⑧庄原市民会館と庄原自治振興センターの施設管理区分の見直しを検討する。

(2) 庄原市民会館の改修

①ホールの座席について

中央通路よりステージ側を席幅 520 mm に広げ、後方は現在と同じ席幅 (440 mm) で座席の取替えのみで席数を 832 席とする改修を実施する。また、車椅子席の数を十分確保する。

②トイレについて

和式を一部残し、洋式トイレに温水洗浄便座を設置する。ただし、温水洗浄便座の設置数については、導入コストやランニングコストを考慮する。

また、各階に多目的トイレを設置する。

③ロビーについて

照度の可変可能な LED 照明を導入する。

カフェスペース等の市民が気軽に立ち寄れる場所の確保を検討する。

④舞台装置等について

本来、委員会での検討の範疇ではないが、音響や照明、舞台装置等専門家の意見を良く聞いた上で導入すべきである。ただし、大規模改修時にしか導入できないものと毎年度の予算で対応可能なものに分け、効果的に改修する。

⑤その他

楽屋について、舞台出演者にとってより良い形で使いやすいものとなるよう、楽屋数も含め、検討した上で改修する。

(3) 庄原自治振興センターの改修

①和室の洋室化について

研修室 A・B は、和室としてそのまま残し、研修室 C・D・E は洋室に変更する。パーテーションにするかどうかについては、庄原自治振興区の意見をふまえて判断する。

②中ホール建設について

名称を「中ホール」から「多目的ホール」に変更し、予算に極力配慮し、整備を検討する。なお、可能な限り小コスト、省エネとなるよう、遊休施設の移築も検討する。整備場所は、北側緑地帯または東側庄原自治振興区駐車場が望ましい。

③その他

調理室や談話室等、現在使い勝手の悪い施設は、基本的に庄原自治振興区の意見を踏まえ、改修を検討する。

庄原市民会館との管理区分の見直しを踏まえ、事務室の移転や談話室 2 階部分への会議室の増築を検討する。

V 整備に関する方針

施設の現状と課題を踏まえ、検討委員会からの検討結果報告書を参考とし、以下のとおり「庄原市民会館・庄原自治振興センターの整備に関する方針」を定める。

1. 庄原市民会館・庄原自治振興センターに共通する整備方針

(1) 整備場所

アンケートや管理団体、利用団体からも現在地での整備を希望する意見が多く、財政的観点からも移転新築は困難なため、両施設を複合施設として現在地において整備する。

(2) 整備規模

築後 40 年以上経過し施設全体の老朽化が著しく、利用者ニーズを満たしていないため、大規模改修を実施する。

(3) 施設の安全性対策（最優先事項）

庄原市民会館と庄原自治振興センターの境界部分等の耐震性が一部不足していることから、耐震改修工事を実施する。また、天井、コンクリートブロック壁等についても施設の安全性を確認し、改修工事を実施する。

(4) 長寿命化対策

築後 40 年以上が経過する中、RC 造の耐用年数 65 年程度を見据え、20～25 年後まで使用できる施設とするため、屋上への防水加工、外装、窓枠、空調、照明等の改修工事を実施する。

(5) ユニバーサルデザインへの配慮

高齢者や障害者の方々はもとより、利用者にとって使いやすい施設とするため、多目的トイレや分かりやすい案内表示を設置するなどの改修を実施する。

(6) 市民意見の反映

アンケートや管理団体、利用団体からの意見を踏まえ、トイレの快適性の向上等改修箇所を判断すると共に、整備に係る経費の抑制に努める。

2. 庄原市民会館の整備方針

(1) ホールの改修

①客席

現在の客席は幅が狭く、座り心地についても改善を求める意見が多いことから、取り替えにより席幅を広げ改善を図る。

なお、席数についても現在と同程度の確保を望む意見もあることから、他市の改修事例も参考にし、800席程度となるよう改修する。

また、ホールへの出入りについては、車椅子の入場経路を整備するとともに、ホール内での車椅子席のスペースを十分確保する。

②天井

客席上部は、吊天井となっていることから、安全対策を含めて改修する。

(2) 舞台関係の改修

①舞台設備（音響・照明・吊物等）

舞台設備については、開館当初より更新されていないため、経年劣化が進み、利用者ニーズに十分に答えられていないことから、改修・更新を行う。なお、これらの改修・更新においては、専門的な知識を要するため、関係者や専門家の意見を踏まえた上で実施する。

②楽屋

楽屋について、明るさや浴室等の改修要望が多いことから、舞台出演者にとって使いやすいものとなるよう改修する。

(3) その他既存施設の改修

①事務室の移転

利用者の利便性向上のため、駐車場がある南側ロビーに事務室を新設し、インフォメーション機能を高める。また、既存の事務室は、自治振興区管理の会議室とする。

②その他の施設

集会室、研修室、ロビー等については、照明や内装等、必要に応じて改修を行う。

3. 庄原自治振興センターの整備方針

(1) 多目的ホールの新設

庄原自治振興区の振興区活動及び生涯学習活動において、必要な会議室、成果発表及び展示スペース等が不足しているため多目的ホールを新設する。

なお、庄原自治振興区からは二階建の建物を要望されているが、既存施設の改修により要望内容への対応が可能であるため、最小限の延床面積となるよう平屋建の整備とする。

また、多目的ホールの機能や規模については、検討委員会からの報告書、庄原自治振興区から提出された要望書や利用計画を参考とし、以下のとおりとする。

①多目的ホールの機能

ア) 会議室

利用率の高い集会室、談話室、研修室G及び2階会議室の状況を考慮し、大会議室を分割使用できるパーティション式の会議室

イ) 小ステージ及び展示機能

芸能サークルの練習や成果発表を行うことのできるスペース

②多目的ホールの規模

多目的ホールの規模については、以下の理由により 200 人収容可能な規模を確保する。

ア) 収容能力

庄原自治振興区利用計画によれば、200 人を超える規模での利用が自治振興区活動報告会で2日、総会等 100 人から 200 人での利用で 27 日など、200 人の収容規模を必要とする会議等が年間 29 日程度見込める。分割利用も想定できる 50～100 人規模の利用日数は自治振興区活動により 124 日となっており、合計すると年間 153 日、稼働率は約 42.7%となる。

■庄原自治振興区利用計画

利用人数規模	利用日数	適用
200 人超規模	2	活動報告会(展示含)
100～200 人規模	27	総会、地域交流会、市政懇談会、研修会、成果発表
50～100 人規模	124	自治振興区活動
合計	153	

イ) 必要面積

日本建築学会編集「建築設計資料集成」によれば、机椅子利用で200人が利用する場合、一人あたり約1.2㎡が目安となり、約240㎡程度が必要となる。

さらに、小ステージや収納スペース、通路等を考慮すると全体で約400㎡の面積が必要である。

③多目的ホールの整備場所

庄原自治振興区からの要望では、現在の庄原自治振興センター事務室東側駐車場付近への新設を要望されているが、要望されている場所では、新設する多目的ホールが縦長な形となり、会議、ステージ発表等での使い勝手が悪く、また玄関機能を果たしていない北側を有効活用するため、北側緑地帯へ新設する。

(2) 和室の改修

建設当初の利用目的と現在の利用者ニーズが乖離しており、利用が低迷している。庄原自治振興区の要望を踏まえ和室の研修室の一部を洋室へ改修する。

(3) その他既存施設の改修

段差等の利用しにくい状況から事務室や調理室、談話室等の改修を求める意見が多いため、庄原自治振興区の意見を踏まえ改修する。

VI 庄原市民会館・庄原自治振興センターの概算事業費及び整備スケジュール

1. 庄原市民会館個別事業費

(単位：千円)

	整備内容	金額	備考
①	大ホール改修一式	296,000	座席・天井・床・スロープ 等
②	舞台関連改修一式	322,000	音響・照明・吊り物・楽屋 等
③	その他	79,000	事務室移転・玄関改修 等
	合計	697,000	

2. 庄原自治振興センター個別事業費

(単位：千円)

	整備内容	金額	備考
④	多目的ホール新設一式	300,000	平屋建・会議室2室(間仕切り)・ステージ 等
⑤	既存施設改修一式	65,000	談話室・事務室・和室・実験実習室 等
	合計	365,000	

3. 庄原市民会館・庄原自治振興センター共通事業費

(単位：千円)

整備内容	庄原市民会館	庄原自治振興センター	合計	備考
耐震改修一式	20,000	14,000	34,000	両施設エキスパンションジョイント改修 等
外構・外装改修一式	161,000	111,000	272,000	屋上防水・窓枠 等
内装・トイレ改修一式	38,000	26,000	64,000	壁・床・2階多目的トイレ新設 等
設備・備品改修一式	69,000	47,000	116,000	空調・照明・排煙システム 等
基本計画・実施設計・工事監理委託費一式	97,000	66,000	163,000	
合計	385,000	264,000	649,000	

※共通事業費は、延床面積で按分

市民会館 2,577.15 m² : 庄原自治振興センター 1,767.33 m² = 59.3% : 40.7%

4. 総事業費

(単位：千円)

	庄原市民会館	庄原自治振興センター	合計
個別事業費	697,000	365,000	1,062,000
共通事業費	385,000	264,000	649,000
合計	1,082,000	629,000	1,711,000

5. 整備スケジュール

	2019 (平成 31) 年度	2020 (平成 32) 年度	2021 (平成 33) 年度	2022 (平成 34) 年度
庄原市民会館	基本計画	実施設計	改修工事	改修工事
庄原自治振興センター				

6. 年度別事業費

(単位：千円)

	2019 (平成 31) 年度	2020 (平成 32) 年度	2021 (平成 33) 年度	2022 (平成 34) 年度	合 計
庄原市民会館	11,000	54,000	801,000	801,000	1,082,000
庄原自治振興センター	8,000	36,000			629,000
合 計	19,000	90,000	801,000	801,000	1,711,000

※基本計画、実施設計が策定されていないため、2021～2022（平成 33～34）年度は、概算の全体事業費を2ヵ年に分けて計上

7. 事業費に対する財源

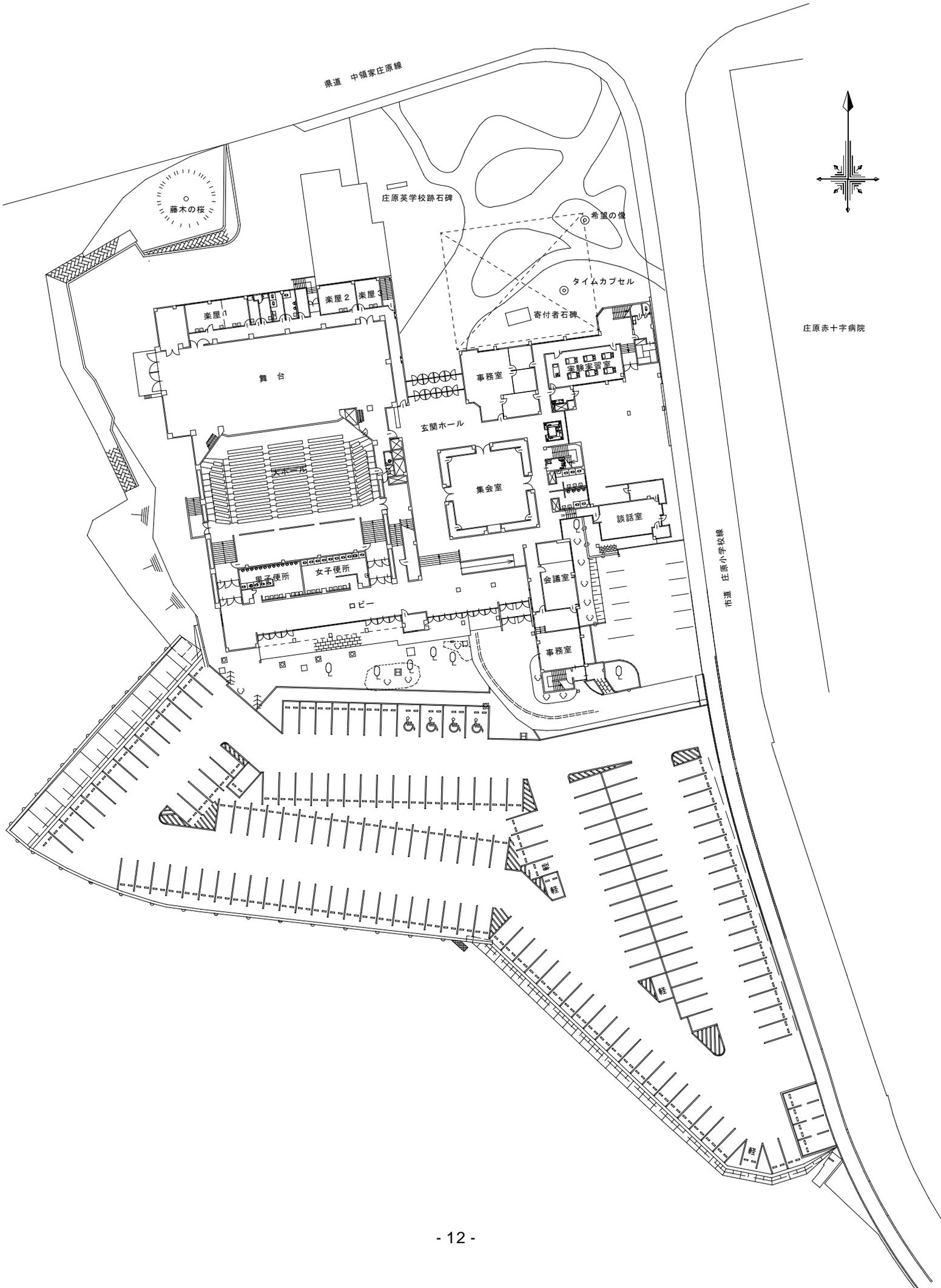
(単位：千円)

	庄原市民会館	庄原自治振興センター	合 計
①国県支出金	193,000	113,000	306,000
②起 債	54,000	488,000	542,000
③地域振興基金	824,000	0	824,000
④一般財源	11,000	28,000	39,000
合 計	1,082,000	629,000	1,711,000

※地域振興基金の充当について（庄原市民会館）

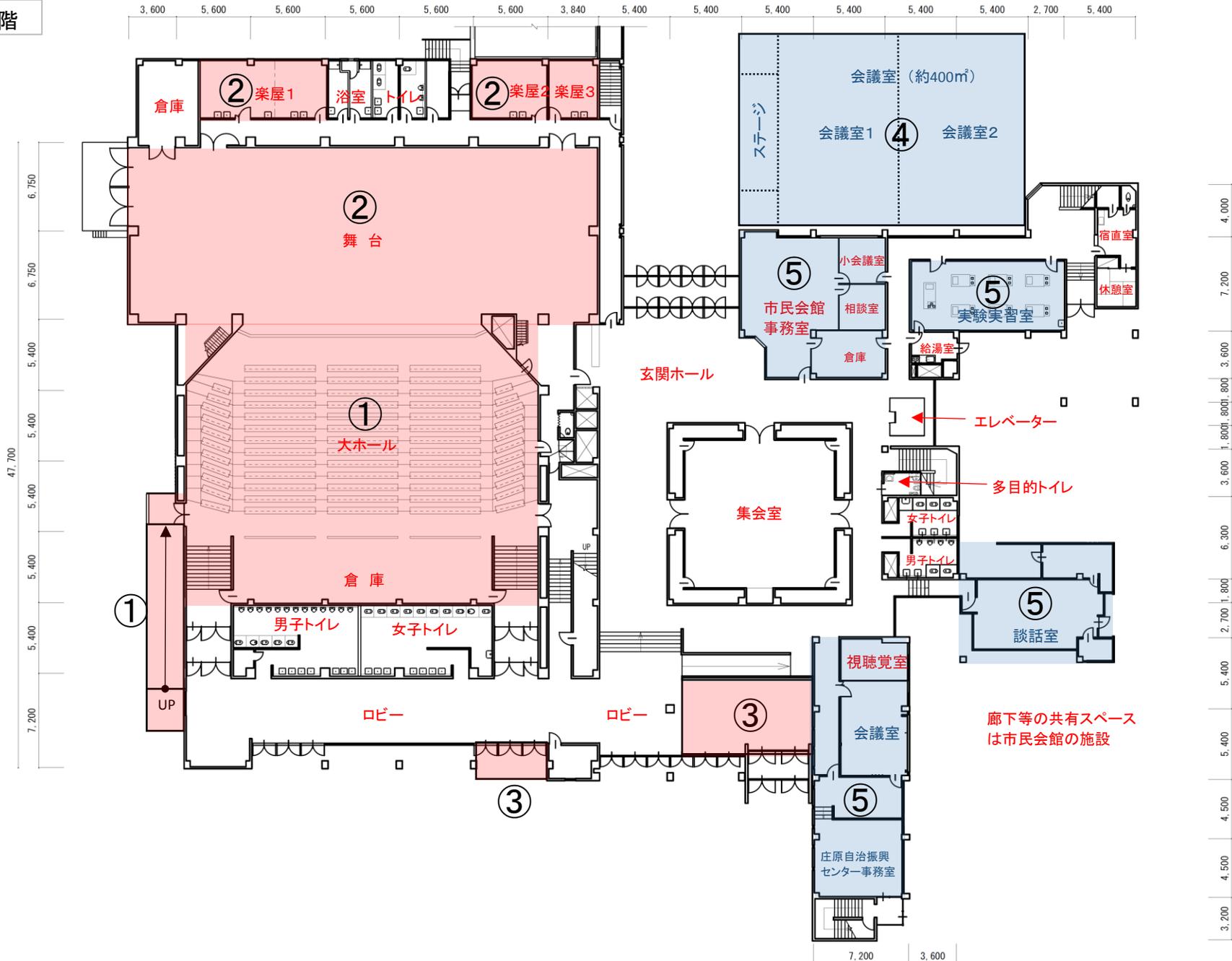
事業実施にあたっては有利な起債（過疎債等）の活用も検討する。

庄原市民会館・庄原自治振興センター配置図

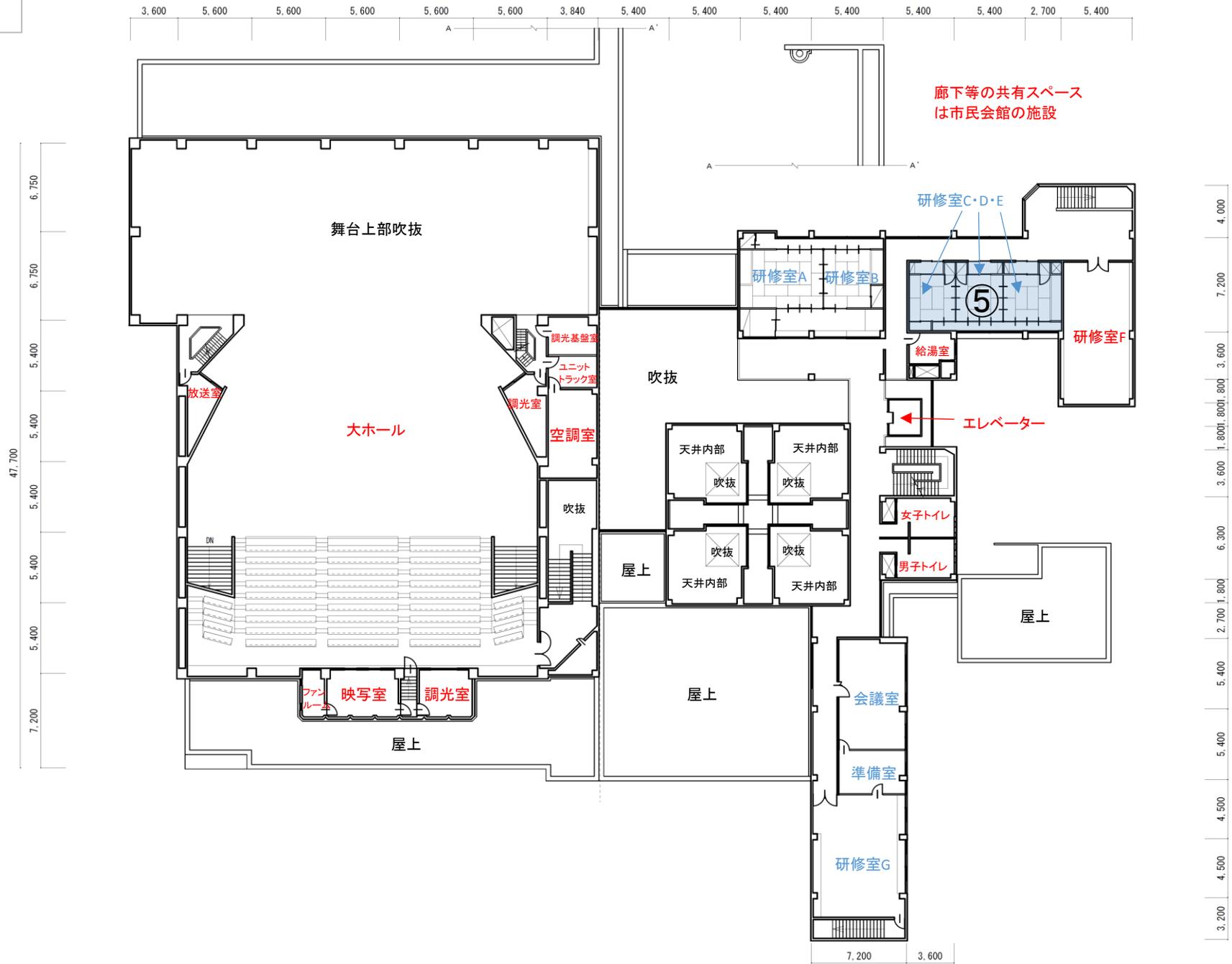


■庄原市民会館・庄原自治振興センター平面図 (赤色:庄原市民会館 青色:庄原自治振興センター)

1階



廊下等の共有スペースは市民会館の施設



廊下等の共有スペース
は市民会館の施設

研修室C・D・E

研修室A 研修室B

給湯室

研修室F

エレベーター

女子トイレ

男子トイレ

屋上

会議室

準備室

研修室G

舞台上部吹抜

大ホール

吹抜

天井内部

天井内部

吹抜

吹抜

屋上

天井内部

天井内部

屋上

映写室

調光室

屋上

放送室

調光基盤室

ユニットトラック室

調光室

空調室

吹抜

DN

ファン

ルーム

6.750
6.750
5.400
5.400
5.400
5.400
5.400
7.200

4.000
7.200
3.600
1.800
3.600
6.300
1.800
2.700
5.400
5.400
4.500
4.500
3.200

7.200 3.600

庄原市民会館・庄原自治振興センター以外の市街地公共施設のあり方検討について

1. 庄原市民会館及び庄原自治振興センターの大規模改修による庄原市街地の他の公共施設への影響について

(1) 庄原市田園文化センター（以下「田園文化センター」という。）

①現在、田園文化センター多目的ホールで行なわれている県美展や市美展等の展示の催しを、庄原自治振興センターの多目的ホール（以下「新設のホール」という。）で行なうことが可能となる。

②上記の機能移転により、移転後の2階多目的ホールに倉田百三文学館を移設、空いた1階のスペースに自主学习コーナーを拡張するなどの図書館機能の充実を図ることができる。

(2) 庄原市ふれあいセンター（以下「ふれあいセンター」という。）

現在、コパリホールで行なわれている多人数が参集する催しでは、施設の駐車場では賅えておらず、庄原市総合体育館（以下「総合体育館」という。）・庄原保健福祉センター（以下「保健福祉センター」という。）等の駐車場を利用している状況である。こうした催しを新設のホールで行なうことにより、駐車場不足問題を解決できる。

(3) 保健福祉センター

現在、研修室1で行なわれている多人数が参集する催しでは、施設の駐車場では賅えておらず、総合体育館・ふれあいセンター等を利用している状況である。こうした催しを新設のホールで行なうことにより、駐車場不足問題を解決できる。

2. 庄原市街地の公共施設の状況について

資料3…庄原市街地の公共施設の状況

資料4…庄原市街地の公共施設平面図

資料5…耐用年数到達年一覧

3. 庄原市公共施設等総合管理計画について

(1) 基本原則1：施設総量（総延床面積）の適正化

財政状況や人口推移を考慮し、施設総量の適正化を図る。利用ニーズの縮小した施設の統廃合を進める。

(2) 基本原則2：長寿命化の推進

予防保全の考え方で、計画的な維持管理・修繕を行い、ライフサイクルコストを縮減する。

(3) 基本原則3：複合化の推進と運営の効率化

更新や新規整備にあたっては、施設の複合化や多機能化を推進。また、効率的な管理運営により、サービス向上と経費削減に努める。

(4) 目標：総延床面積を20年間で25%縮減

少子高齢化や人口減少に伴い、税収の減少や扶助費等の支出増加が見込まれ、将来的に投資的経費の増額は見込めないため、総延床面積を縮減する必要がある。

庄原市街地の公共施設の状況

No	施設名	構造	敷地面積(m ²)	延床面積(m ²)	建築年	経過年数	耐用年数(標準)	開館日数	開館時間	管理運営形態	年間利用者数(人)	部屋名	稼働日数	稼働率(%)	現状	課題	備考			
1	備後庄原駅 	木造	443.95	382.03	1923 (T12)	95	既経過	365	—	直営	H25	43,257	駅舎	365	100.0	駅舎、子育て支援施設、倉庫として利用している。周辺にはバスセンター等の交通機関の他、ガソリンスタンドや事業所、店舗併用住宅等が所在している。発券・清掃等を業務委託している。	区画整理事業により駅前広場を公共交通の結節点として整備することとしており、公共交通利用者の利便性の向上、交通発着拠点を活用した市民交流の促進、会議スペースの確保が求められている。	H31年度に駅舎トイレの拡張や会議スペース・多目的スペースの整備をする予定である。子育て支援施設も、庄原小学校近くにH31年度開設予定である。		
											H26	40,256	子育て支援施設	244	66.8					
											H27	48,056								
											H28	52,035								
											平均	45,901								
2	庄原市ふれあいセンター 	鉄筋コンクリート造	4,324.74	旧館	1976 (S51)	42	2041	365	8:30 ～ 22:00	指定管理 (社)庄原市社会福祉協議会	H25	30,176	集会室(コバリ)	264	72.3	社会福祉協議会の事務所のほか、老人クラブ連合会、女性連合会の事務所として活用している。ホール・会議室を有しており、コバリホールの利用率は72.3%と高い。	H19年度に総合福祉センター建設の凍結方針を受け、ふれあいセンターはその代替施設となっているが、指定管理者の社会福祉協議会や事務所として利用している老人クラブ連合会などからは、事務所機能の拡大も含めた福祉の拠点整備を求められている。また、施設の老朽化に伴い、修繕費が増加している。	旧館部分は耐震診断未実施。		
				新館							409.26	750.34	1999 (H11)	19	2064				H26	28,558
				合計	1,159.60								H27	30,299	和室				112	30.7
												H28	28,359	実習室	35				9.6	
												平均	29,348	学習室	247				67.7	
														中会議室	224				61.4	
														相談室1F	204				55.9	
							相談室2F	138	37.8											
3	庄原自治振興センター 	鉄筋コンクリート造	10,787.00	1,767.33	1976 (S51)	42	2041	358	8:30 ～ 22:00	指定管理 (庄原自治振興区)	H25	14,939	研修室A B(和室)	199	55.6	庄原自治振興区内において、協働のまちづくりをめざし、住民自治活動の充実を図るため、庄原自治振興区等の主体的な地域づくり活動並びに生涯学習等の拠点としての役割を担っており、庄原自治振興区を指定管理者として管理委託している。	施設全般に老朽化や経年劣化が進んでおり、近年多額の維持修繕費を要している。躯体の防水性やホールの空調、座席、トイレの快適性など、施設の改善要望の声が寄せられており、舞台設備についても改善が望まれている。	来年度から、現在地において大規模改修の実施に向け、基本計画を策定予定。また、平屋建の多目的ホールを新設予定。		
											H26	13,595	研修室C D E(和室)	15	4.2					
											H27	13,539	研修室G	202	56.4					
											H28	13,079	2F会議室	176	49.2					
											平均	13,651	談話室	276	77.1					
													実験実習室	23	6.4					
4	庄原市民会館 	鉄筋コンクリート造	10,787.00	2,577.15	1977 (S52)	41	2042	357	9:00 ～ 22:00	指定管理 (NPO法人庄原市芸術文化センター)	H25	29,307	ホール	87	24.4	庄原市の芸術・文化活動の拠点として、市民の文化の向上及び住民福祉の増進を果たす役割を担っており、NPO法人庄原市芸術文化センターを指定管理者として管理委託している。926席の大ホール、ロビー、楽屋、集会室、視聴覚室、研修室Fがある。	【両施設共通】 一体的な躯体をなす両施設の境界部分等に耐震性が一部不足していることが判明し、耐震改修工事が必要となっている。さらに機能面においては、旧中央公民館が担っていた貸館機能が、庄原市民会館・庄原自治振興センターの両施設に混在し、来館者の利用申請が煩雑になっている。	2019(H31):基本計画 2020(H32):実施設計 2021・2022(H33・34):建設工事		
											H26	29,724	ロビー	3	0.8					
											H27	34,475	集会室	317	88.8					
											H28	35,180	研修室F	200	56.0					
											平均	32,172								
5	庄原保健福祉センター 	鉄筋コンクリート造	2,257.00	688.53	1990 (H2)	28	2055	359	8:30 ～ 22:00	直営	H25	17,519	研修室1(大)	313	87.2	健康づくり及び保健福祉の活動を推進する施設として利用されている。また、平成29年度からは、センターの一部を身体障害者連合会が事務所として利用している。受付業務は総合体育館へ委託している。	地域活動等の利用は利用料金が無料であるため、利用頻度は多いが地域活動等の利用が多く収入はほとんど見込まれない。しかし、施設の老朽化により軽微な修繕が増えてきており、今後、市の負担の増加が見込まれる。			
											H26	17,175	研修室2(小)	123	34.3					
											H27	16,838	研修室3(和室)	241	67.1					
											H28	16,501	調理実習室	163	45.4					
											平均	17,008								
6	庄原市田園文化センター 	鉄筋コンクリート造	1,329.00	1,975.62	1989 (H1)	29	2054	292	9:00 ～ 22:00	直営	H25	61,244	多目的ホール	68	23.3	図書館、歴史民俗資料館、倉田百三文学館としての機能を有している。多目的ホールでは、県美展、市美展などの作品展示が行なわれている。	田園文化センターは同じ文化施設の市民会館と離れていることや、駐車場が施設から離れているため、利便性が悪い。また施設の敷地は借地であり、年間280万円程度の経費がかかっている。			
											H26	58,410								
											H27	65,673								
											H28	71,114								
											平均	64,110								
7	庄原市総合体育館 	鉄筋鉄骨コンクリート造	7,936.00	5,175.60	1993 (H5)	25	2058	358	9:00 ～ 21:30	指定管理 (株)庄原市総合サービス	H25	61,244	アリーナ	354	98.9	庄原市総合サービス(株)を指定管理者として管理委託しており、屋内スポーツ及びスポーツ振興のための施設として利用されている。	経年劣化による空調施設、水銀灯の維持修繕が必要となっている。	H29年度より年次的に修繕工事を実施している。 H28・29 屋根改修 H31 館内照明LED化 H32・33 空調改修		
											H26	58,410	柔道場	230	64.2					
											H27	65,673	剣道場	300	83.8					
											H28	71,114	会議室1F	187	52.2					
											平均	64,110	会議室2F	178	49.7					
													控室A	99	27.7					
													控室B	112	31.3					
													特別室	139	38.8					
													トレーニングルーム	358	100.0					

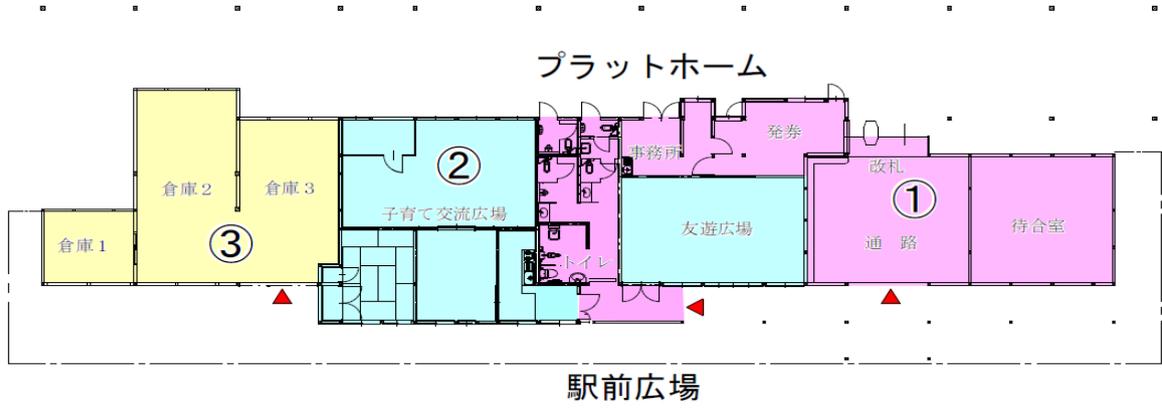
No	施設名	構造	敷地面積(m ²)	延床面積(m ²)	建築年	経過年数	耐用年数到達年	開館日数	開館時間	管理運営形態	年間利用者数(人)	部屋名	稼働日数	稼働率(%)	現状	課題	備考	
8	庄原交流拠点施設 (食彩館しょうばら ゆめさくら) 	鉄骨造	8,224.00	1,679.90	2002 (H14)	16	2042	315	8:30 ～ 18:00 (1～3月は 17:00)	指定管理 (株)グリーン ウインズさとや ま)	H25	252,154	朝どり市	315	100.0	<p>(株)グリーンウインズさとやまを指定管理者として管理委託しており、農畜産物の加工・販売や観光情報発信、多様な交流の促進等により、地域活性化を図る施設として整備している。</p>	庄原地域の観光拠点としても位置付けてきたが、中国自動車道庄原ICからの地理的な優位性を活かせず、観光情報発信の機能が十分に発揮されていない。 また、施設がオープンして16年が経過し、老朽化が進み修繕の必要な箇所が見受けられるほか、運営方法の見直しも進んでいないことあり、年々、来客数が減少している。	食材の宝庫庄原を生かした新商品の開発や新たな交流事業の展開など来訪者に魅力を感じてもらえる環境づくりに取り組んでいく必要がある。
											H26	249,018	特産品・ミート工房	315	100.0			
											H27	254,292	ミルクファームHARU	315	100.0			
											H28	239,424	めぐみ	315	100.0			
											平均	248,722	花ほぼろ	315	100.0			
													交流ホール	105	33.3			
9	庄原市役所本庁舎 	鉄筋 鉄骨 コンク リート 造	3,804.26	7,429.47	2009 (H21)	9	2074	243	8:30 ～ 17:15	直営	H25	—	1階市民ホール	223	91.8	<p>本庁舎は、鉄筋コンクリート造6階で、平成21年に築造した。書庫棟や別館を含めた総延床面積は8,442m²。</p>	本庁舎に隣接する別館は老朽化に加え、耐震性を有していない。 建築からほぼ10年が経過し、庁舎維持修繕費が増加している。今後増加が予想される。	
											H26	—						
											H27	—						
											H28	—						
											平均	—						
10	休日診療センター 	木造	551.59	268.92	2013 (H25)	5	2053	9:00 ～ 17:00	直営	H25	941	診療所	71	100.0	<p>休日における急病患者に対し応急的な診療を行い、初期の救急医療体制を確保するための施設として整備している。 医師、看護師、医療事務等を委託している。</p>	特段なし		
										H26	955							
										H27	757							
										H28	849							
										平均	876							
11	楽笑座 	木造	1,004.00	272.63	不明 (H17開 設)	—	既経過	307	9:00 ～ 21:00	業務委託 (庄原市 観光協会)	H25	744	休憩所	307	100.0	<p>商家の蔵を譲り受け、まちなかのにぎわいと楽しみの場を創出し、商店街の活性化を図るため整備している。</p>	<p>利用者が限定的で多様な層が利用していない。 また、利用者も少なく商店街の活性化につながっていない。 駐車場の借上料が年間144万円かかっている。 施設の老朽化に伴う修繕費が増加傾向にある。</p>	
											H26	1,571	多目的スペース	147	47.9			
											H27	4,145	楽笑座通り広場	—	—			
											H28	2,809						
											平均	2,317						
12	まちなか交流施設 (三軒茶屋) 	木造	1,577.00	196.96	不明 (H21開 設)	—	既経過	308	10:00 ～ 20:00	直営	H25	3,553	1階部分	308	100.0	<p>古民家を譲り受け、市民に交流の場を提供し、市街地におけるにぎわいを創出するため整備し、1階はカフェ・ランチの飲食提供、2階は研修・会議の場として利用されている。 (社)優輝福祉会へ施設の目的外使用許可を出し運営している。施設近くの庭の管理も委託している。</p>	<p>年々利用者が減少している。また、1日当たりの利用者も5.4人(平成28年度)と少ない状況。 1階は(社)優輝福祉会による利用があるが、2階の展示室の利用がほとんどない。 施設の老朽化に伴う修繕費が増加傾向にある。</p>	
											H26	2,413	展示室1	3	1.0			
											H27	1,840	展示室2	0	0.0			
											H28	1,650	展示室3	0	0.0			
											平均	2,364	芝生広場・アーティスト広場	12	3.9			
13	小児科診療所 (庄原こどもクリニック) 	木造	1,296.76	214.22	2018 (H30)	0	2058	306	月・火・木・金 9:00～12:00 14:00～18:00 水 9:00～14:00 土 9:00～13:00	業務委託 (小児科医師個人)	—	—	—	—	—	平成30年7月2日 供用開始	特段なし	
											—	—	—	—	—			
											—	—	—	—	—			
											—	—	—	—	—			
											—	—	—	—	—			
	病児病後児保育施設 (わらべ保育室) 	木造	1,296.76	103.86	2018 (H30)	0	2058	243	8:30 ～ 18:00	業務委託 (一般社団法人 里山こども未来 会議)	—	—	—	—	—	平成30年7月2日 供用開始	特段なし	
											—	—	—	—	—			
											—	—	—	—	—			
											—	—	—	—	—			
											—	—	—	—	—			

庄原市街地の公共施設平面図目次

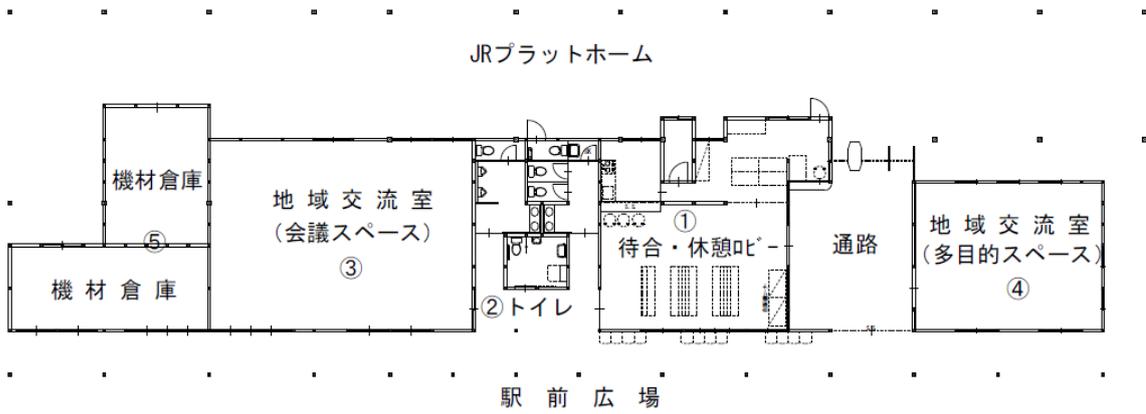
1. 備後庄原駅	1
2. 庄原市ふれあいセンター	2.3
3. 庄原自治振興センター	4.5
4. 庄原市民会館	4.5
5. 庄原保健福祉センター	6
6. 庄原市田園文化センター	7.8
7. 庄原市総合体育館	9.10
8. 庄原交流拠点施設（食彩館しょうばらゆめさくら）	11
9. 庄原市役所本庁舎	12
10. 休日診療センター	13
11. 楽笑座	14
12. まちなか交流施設（三軒茶屋）	15
13. 小児科診療所・病児病後児保育施設	16

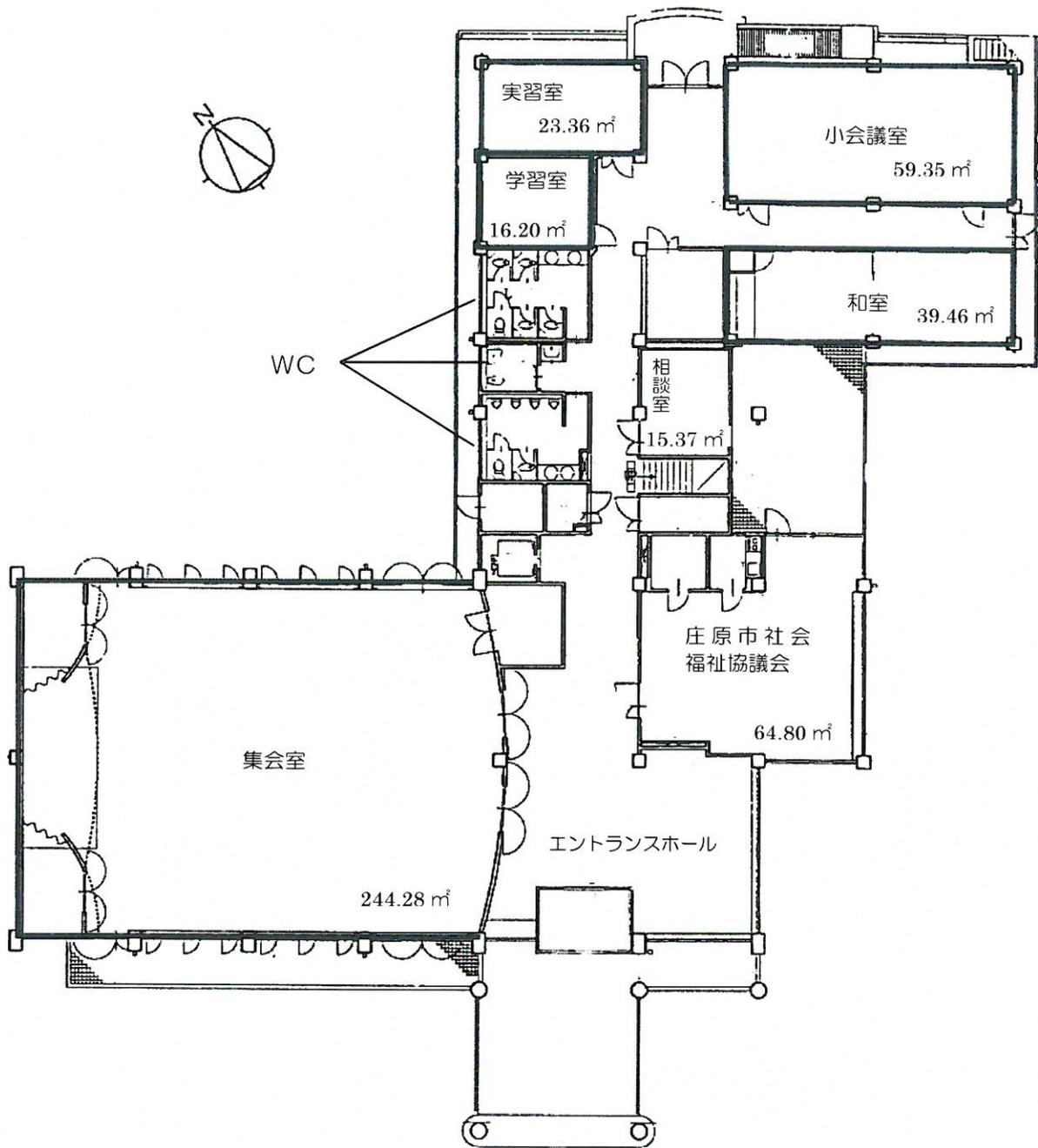
【備後庄原駅 平面図】

(現状)

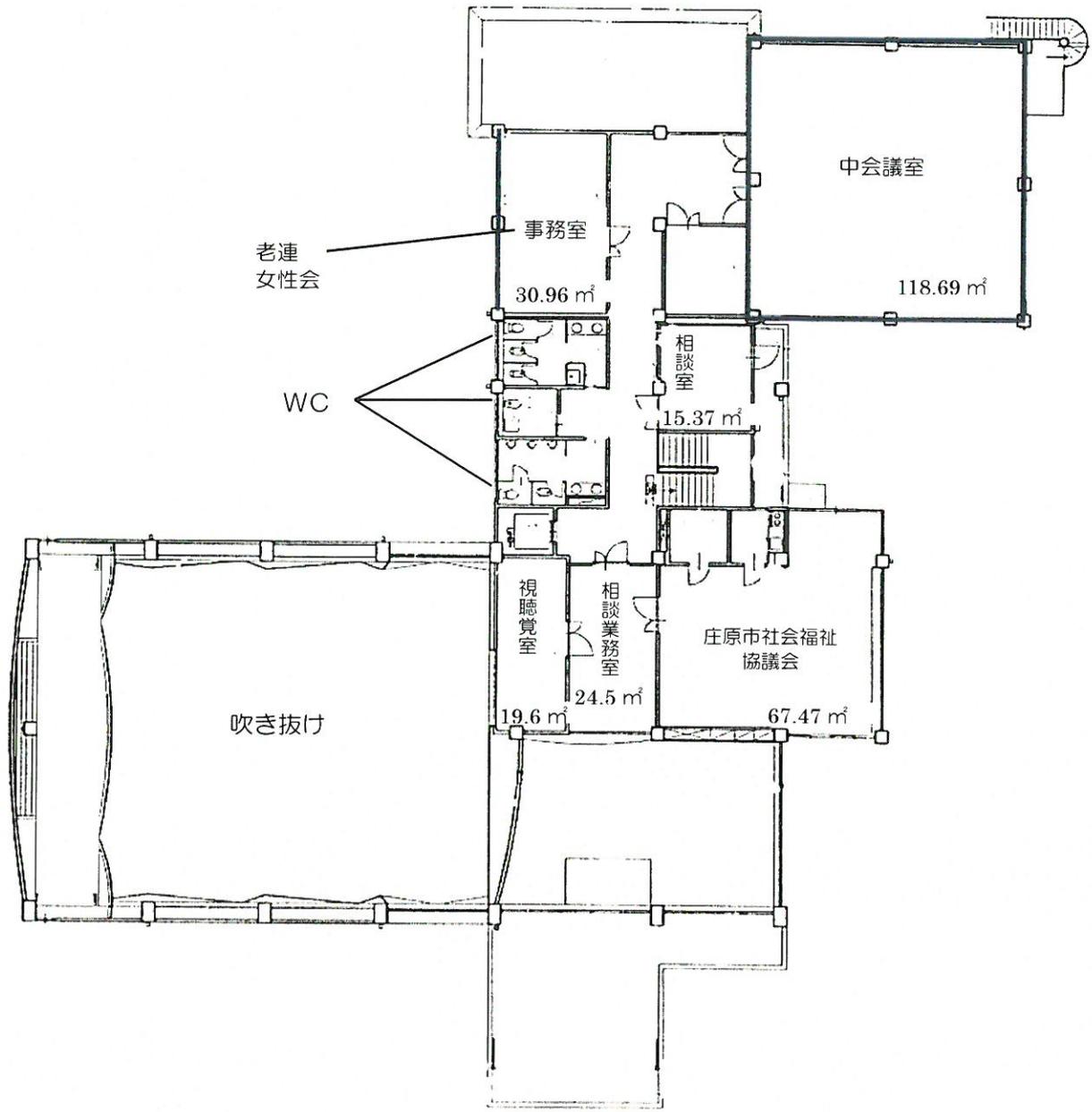


(変更計画)





庄原市ふれあいセンター 1階平面図



庄原市ふれあいセンター 2階平面図



ごあいさつ

生きがいと連帯感に支えられ、健康で活気に満ちた地域社会を創出することは、本市にとって重要な課題であります。

このたび永年の念願でありました庄原市保健センターが、関係各位のご協力を得て立派に竣工いたしましたことは、誠にご同慶にたえません。

高齢化時代を迎え、健康に対する関心が大きな高まりとなる中で、今後この保健センターが健康づくりの拠点として十分に機能を発揮し、又「私達の健康は、私達で」の合言葉のもとに幅広くご活用頂くことにより、市民の皆様の健康増進に大きく貢献することを切望し、ごあいさついたします。

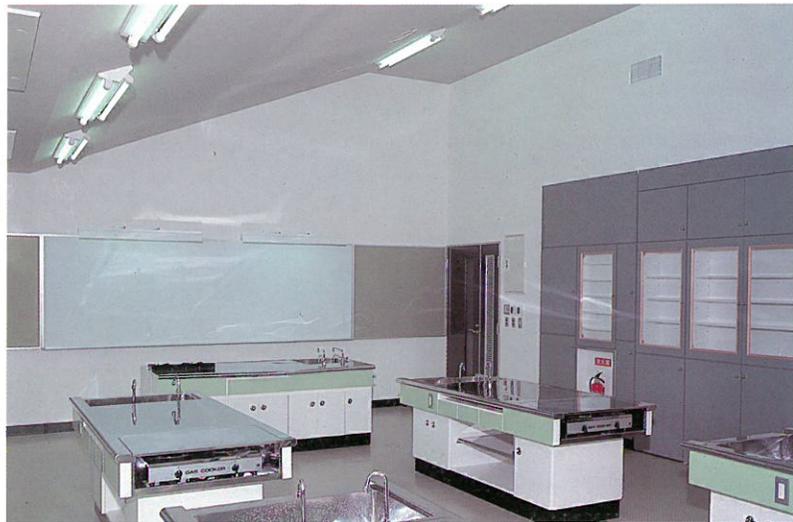
平成2年4月

庄原市長 寺上正人

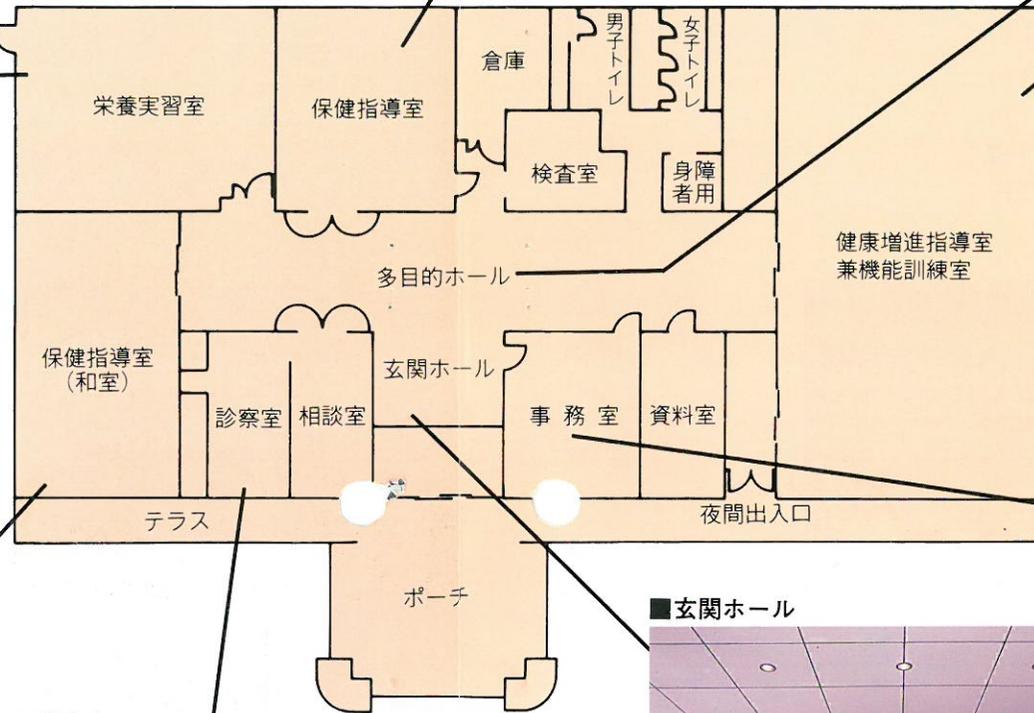
■保健指導室



■多目的ホール



■栄養実習室



■健康増進指導室兼機能訓練室



■保健指導室(和室)



■診察室



■玄関ホール

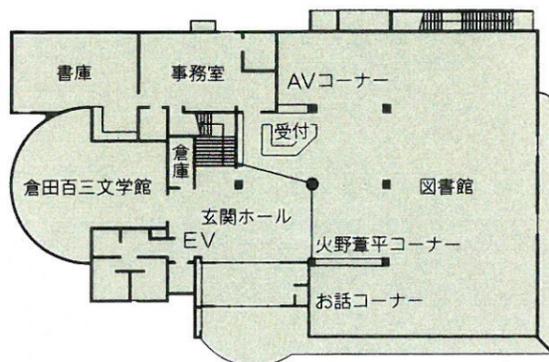


■事務室





1階平面図



一階各部門別面積

図書館	419.43㎡
事務作業室	126.03㎡
倉田百三文学館	88.48㎡
ホール(ロビー)	62.39㎡
その他の部分	93.16㎡
合計	789.49㎡



玄関ホール:



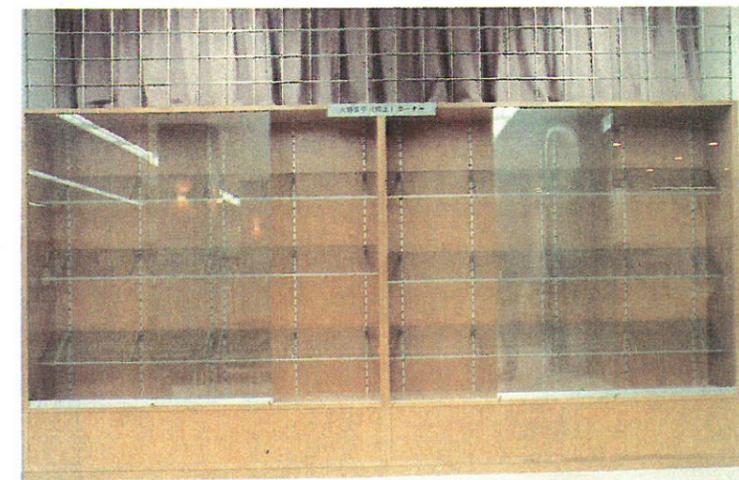
図書館: 開架図書約30,000冊、気軽に利用できる雑誌新聞の閲覧コーナー、AVコーナーを設け、CDやLDの貸出しも行ないます。



倉田百三文学館: 戯曲「出家とその弟子」で代表される文豪倉田百三の原稿、著書、遺品、書画をはじめ数多くの書簡の中には、フランスのノーベル文学賞作家ロマン・ロランからの手紙も展示されています。



お話しコーナー: 幼児から大人まで一緒に楽しめるコーナーです。絵本の読みきかせや紙芝居のつどいなどを催します。



火野葦平(郷土)コーナー「麦と兵隊」「花と龍」の著者で芥川賞作家「火野葦平」の作品やその母マンの資料などを多彩に展示しています。

1階

利用のご案内

●図書館/

- ▼はじめて本等をかりの手続き: 利用カードを作りますから、申込書にご記入の上、「受付」にお出してください。名前と住所を確認できるもの(保健証、免許証、学生証など)をお見せください。
- ▼本等をかりるとき: 利用カードといっしょに「受付」にお出してください。一人、3点、2週間以内借れます。
- ▼本を返すとき: 「受付」へ本だけ返して下さい。休館日等閉館の時は、ブックポストにお返してください。ただし本以外の資料は、直接「受付」へお願いします。

- ▼調べたいことがあるとき: 「受付」にご相談ください。手紙や電話での相談も受け付けます。
- ▼読みたい本がないとき: 「予約・リクエストカード」に記入して、「受付」にお出してください。
- ▼コピーをしたいとき: 図書館にある資料にかぎり、著作権法で認められる範囲内で複写することができます。
- ▼団体貸出を利用したいとき: 地域の子供会、老人会、読書グループ、職場のクラブ等に貸出をします。1団体 25冊、4週間以内

開架図書・雑誌・新聞・AVコーナーは、ご自由にご利用いただけます。



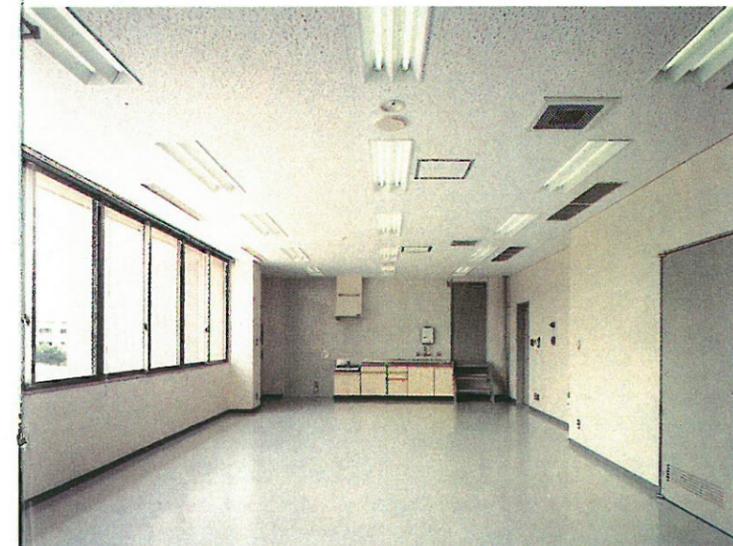
多目的ホール：椅子300席が可能なホールは、講演会や会議室に使用するほか、美術展やグループ展など展示ギャラリーとしても使用できます。



2Fロビー
郷土出身の作家の絵画や書、生花などの展示を行ない、来館者の交流といこいのひろばとしてご利用いただけます。

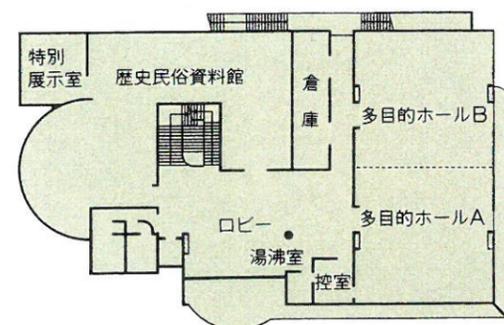


2F歴史民俗資料館
庄原クジラから商家に関する資料まで、庄原市の歴史的特徴を、コーナーごとにまとめた親しみやすい資料館です。



3F研修作業室
資料等の整理・整備や講座等に使用します。

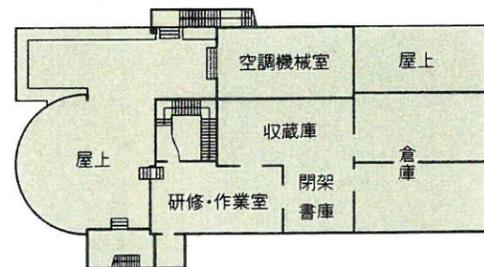
2階平面図



2階各部門別面積

ホール(ロビー)	128.71㎡
民俗資料館	263.92㎡
多目的ホール	255.36㎡
倉庫	34.77㎡
控室	12.21㎡
その他の部分	90.54㎡
合計	785.51㎡

3階平面図



3階各部門面積

倉庫	91.77㎡
収蔵庫	61.52㎡
保存書倉	33.63㎡
研修・作業室	62.70㎡
その他の部分	117.71㎡
合計	367.33㎡

2.3階

多目的ホール・歴史民俗資料館利用のごあんない

- 多目的ホール／会議、展示ギャラリーに利用できます。利用の申し込みは、「受付」にお申しください。目的外使用については、つぎの料金が必要です。
多目的ホール▶1時間につき1,500円
- 備考／多目的ホールを2分の1使用される時は、使用料も2分の1です。
超過時間30分以上は、1時間とし、30分未満は切り捨てとします。
市民以外の方が使用される場合は上記の金額の2倍とします。
冷房又は暖房を使用される場合は、上記の金額の3割増とします。
消費税は別にお支払いください。

工事概要

工事名称	庄原田園文化センター新築工事
工事場所	庄原市本町345番地10
建築面積	847.11㎡
延床面積	1,975.62㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上3階建
設計・監理	大旗連合建築設計株式会社
施工	小林建設株式会社 中国電気工事株式会社
工期	昭和63年9月29日～平成元成5月31日
総事業費	533,637,000円

◇屋内競技場(アリーナ)

広 さ 1,724.3㎡
競 技 バスケット2面、バレーボール3面
バドミントン10面、卓球24面等
観 客 席 1階 移動席448、2階 固定席446
天 井 高 18.32m
附属施設 控室大1、小2、放送室
更衣室(シャワー)(男・女各5カ所)
音響施設、照明装置、吊物装置、
電光得点表示装置、冷暖房設備、
移動ステージ

◇トレーニング室

広 さ 151㎡
主なトレーニング機器名
○バーベル
○コンビネーショントレーニングマシン
○ランニングマシン
○エアロクライム
○エアロバイク330

◇会議室小

広 さ 38.1㎡、14人収容
附属設備 テレビ、ビデオ、冷暖房設備

◇武道場

広 さ 432㎡(柔道場120畳敷)
附属施設 更衣室(男・女シャワー)、
音響施設

◇ランニングコース

一周180m

◇会議室大

広 さ 120.4㎡、100人収容
附属設備 テレビ、ビデオ、映写機
オーバードヘッド、冷暖房設備

◇事務室

広 さ 118.2㎡
設 備 防災監視装置、監視カメラ等

◇諸 室

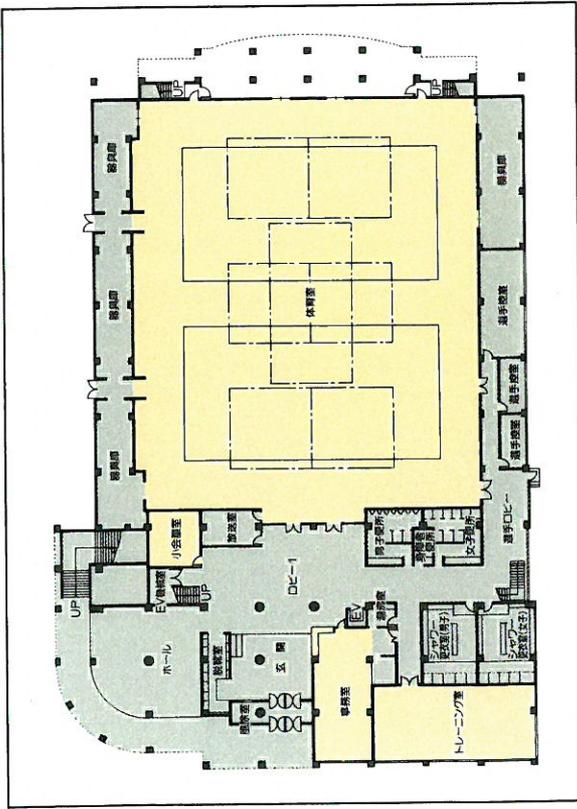
湯沸室2室
エレベーター(11人、750kg)1基

施設概要

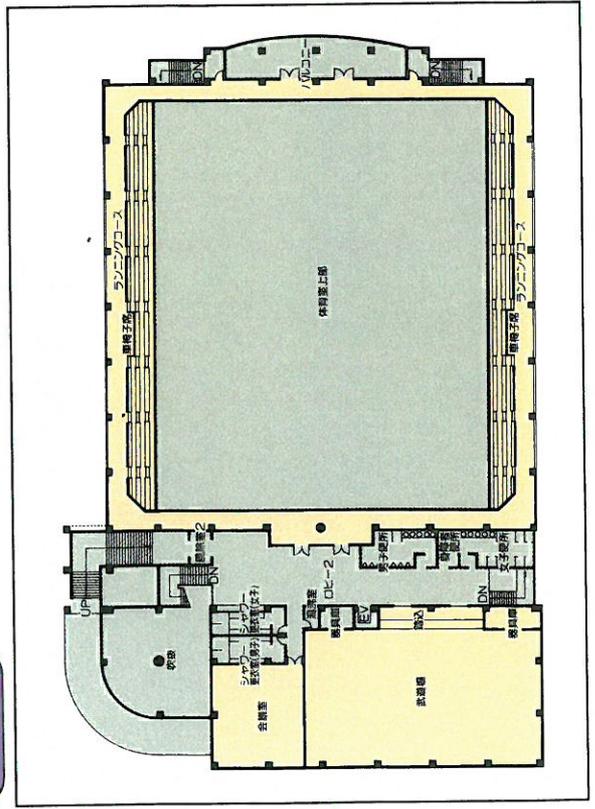


平面図

1F



2F



位置

庄原市西本町四丁目3番2号

構造・規模

鉄筋コンクリート2階建
 建築面積 3,811.36㎡
 延床面積 5,175.60㎡
 1階 3,396.22㎡
 2階 1,779.38㎡

設計・施工業者

設計・施工監理 中電技術コンサルタント株式会社
 建築主体工事 奥村・玉川特定建設工事共同企業体
 電気工事 株式会社 中電工庄原営業所
 衛生設備工事 株式会社 大歳組
 周辺整備工事 奥村・玉川特定建設工事共同企業体

工事概要

着工 平成3年10月16日 竣工 平成5年3月25日
 総事業費 2,000,000千円
 設計・監理委託料 36,000千円 周辺整備工事費 158,000千円
 建築主体工事費 1,279,000千円 公有財産購入費 166,000千円
 電気工事費 189,000千円 備品購入費 130,000千円
 衛生設備工事費 42,000千円

A 朝どり市

安心・安全・新鮮さをキーワードに生産者が丹精込めて作った野菜・切り花・加工品が並び直売店です。



C 小麦工房 21めぐみ

地元産の小麦、卵、牛乳等を使用した焼きたてパンが自慢です。クッキーやケーキもどうぞ。

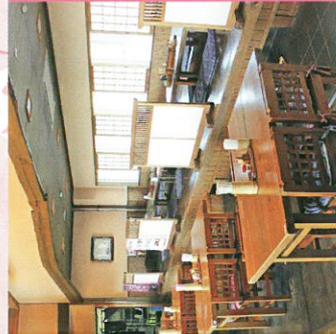


F 花ほぼろ 《レストラン》

デッキ

F お食事処 花ほぼろ

地産地消にこだわり、手打ちそばから特製庄原りんごカレーなど洋食もあり、季節に応じて新メニューもご提供しています。
*各種宴会・仕出しも承ります。



出入口

A 朝どり市 《農産物販売所》

B ミルクファーム HARU

C 小麦工房 21めぐみ

D ミート工房

D 特産店

E 交流ホール

出入口

正面
玄関

出入口 情報コーナー

案内所

トイレ

情報端末

E エントランス
ホール

デッキ

事務室

デッキ

E エントランスホール & 交流ホール

講座イベントの開催や、庄原の観光情報を提供しています。
*館内では無線LAN (Wi-Fi) が使用できます。



庄原の旬に出会えます

B ミルクファーム HARU

地元産の生乳を使用したアイスクリームの製造販売。牛乳やバターなど乳製品の宝庫です。
*地方発送を承ります。



D ミート工房

伝統と最新の技術で改良され続けるブランド和牛、比婆牛の販売、又、無添加のハム・ソーセージも製造販売しています。

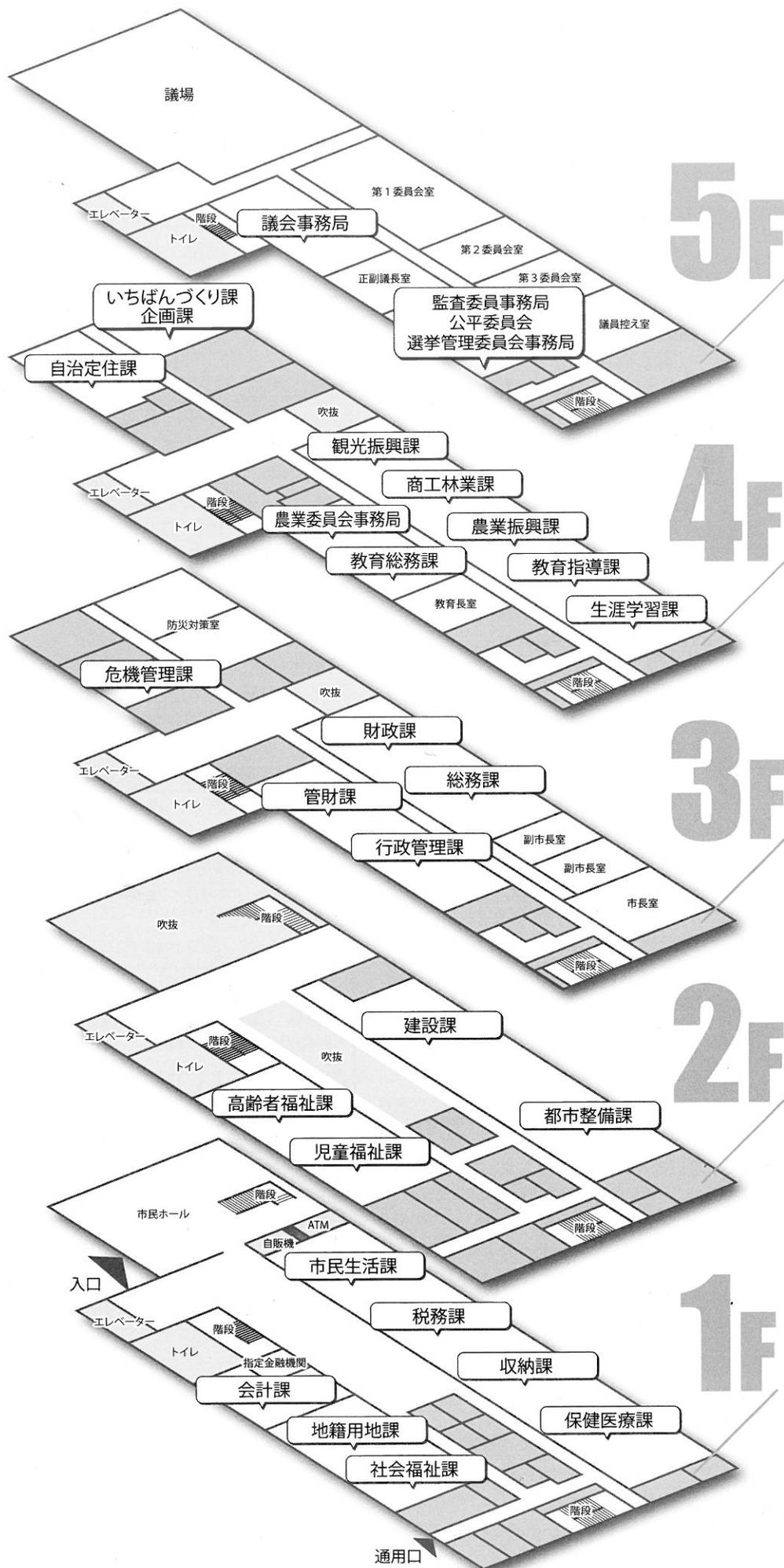


D 特産店

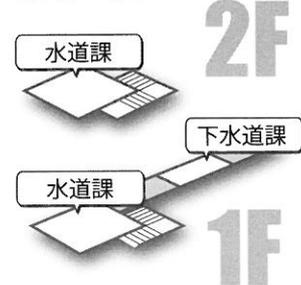
庄原で取れたお米、地酒、特産品などの自然の恵みとお菓子などの庄原の味をご提供します。



市役所本庁舎各課の配置



別館



庄原市休日診療センター



診療日

日曜、祝祭日、12月30日から1月3日までの間

診療時間

午前9時から午後5時まで

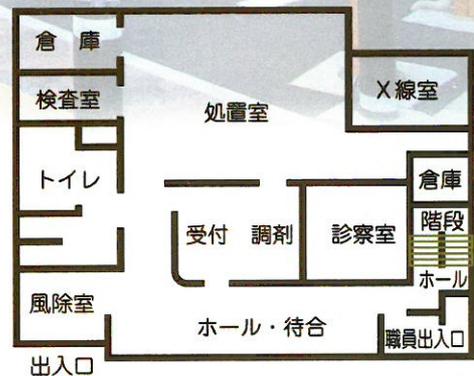
施設等の概要・施設の規模など

- ・ 建築構造物 木造2階建て
- ・ 敷地面積 541.23㎡
- ・ 建築面積 174.31㎡
- ・ 延べ床面積 268.09㎡
(1階：156.55㎡ 2階：112.37㎡)

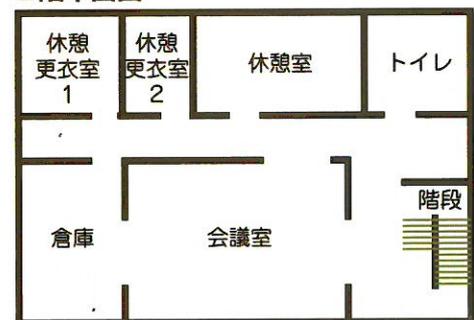
主な医療機器など

- ・ 診断用X線装置及び画像ファイリングシステム
- ・ 超音波画像診断装置
- ・ 自動血球計数CRP測定装置
- ・ 解析付心電計
- ・ AED

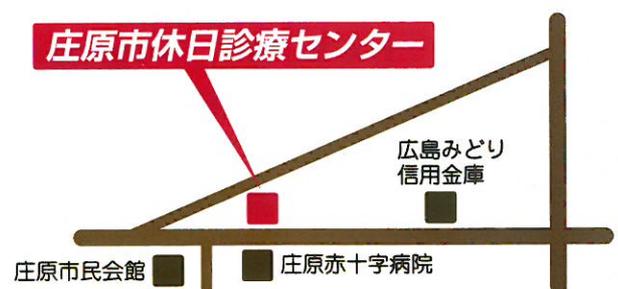
1階平面図



2階平面図



庄原市休日診療センター



庄原市休日診療センター

727-0013 広島県庄原市西本町三丁目4-7

TEL:0824-72-9900

耐用年数をRC造:65年 S造:40年 W造40年で計算

施設名	構造	建築年	現在経過年数	耐用年数到達年度	経過年数					
					2018年 (H30年)	2028年 10年後	2038年 20年後	2048年 30年後	2058年 40年後	2068年 50年後
1 備後庄原駅	W平	1923年 (T12)	95	既経過						
2 ふれあいセンター ※新館は平成11年建築	RC2	旧:1976年 (S51) 新:1999年 (H11)	旧:42 新:19	旧:2041年 新:2064年						
3 庄原自治振興センター	RC2	1976年 (S51)	42	2041年						
4 市民会館	RC4	1977年 (S52)	41	2042年						
5 保健福祉センター	RC平	1990年 (H2)	28	2055年						
6 田園文化センター	RC3	1989年 (H1)	29	2054年						
7 総合体育館	SRC2	1993年 (H5)	25	2058年						
8 庄原交流拠点施設 (ゆめさくら)	S平	2002年 (H14)	16	2042年						
9 庄原市役所本庁舎	SRC6	2009年 (H21)	9	2074年						
10 休日診療センター	W2	2013年 (H25)	5	2053年						
11 楽笑座	W平	不明 (取得 H16)	(14)	既経過						
12 まちなか交流施設 (三軒茶屋)	W2	不明 (取得 H21)	(9)	既経過						
13 小児科診療所 病児病後児保育施設	W平	2018年 (H30)	0	2058年						

	到達年	施設名
耐用年数経過		備後庄原駅・楽笑座・三軒茶屋
20～30年後耐用年数到達	2041年	ふれあいセンター(旧館)・庄原自治振興センター
	2042年	庄原市民会館・庄原交流拠点施設(ゆめさくら)
30～40年後耐用年数到達	2053年	休日診療センター
	2054年	田園文化センター
	2055年	保健福祉センター
	2058年	総合体育館・小児科診療所・病児病後児保育施設
	2064年	ふれあいセンター(新館)
40～50年後耐用年数到達	2074年	庄原市役所本庁舎